

『日本少国民文化協会』創設80周年企画

「日本」の「近代」に問いを發するシリーズ *戦争のなかの文化9*

日本少國民文化協會 資料集大成

全八卷
十別冊
[編集復刻版]

編集・解題 - 浅岡 靖央 (白百合女子大学)

推薦 - 宮本 大人 (明治大学)・酒井 健太郎 (昭和音楽大学)

造本 - A5判・総2,724頁・並製

揃価 - 168,000円

【本編一】「日本少国民文化協会」機関誌・会報・玩具

第一巻 130頁 (『少国民文化』復刻版、エムティー出版 (1991年) 未収録資料)

【本編二】「日本少国民文化協会」内部文書 (三百三十五点)

第二巻 370頁 / 第三巻 424頁 / 第四巻 312頁 / 第五巻 324頁

【別編】「日本少国民文化協会」関係書

第六巻 312頁 / 第七巻 424頁 / 第八巻 312頁

【別冊】「日本少国民文化協会」解題・索引・年表

※解題、解説、「日本少国民文化協会」内部文書一覧、雑誌『少国民文化』執筆者索引、
「日本少国民文化協会」年表 116頁

第一回配本	2021年12月23日刊	二・六巻・別冊	配本揃価 46,000円	ISBN978-4-910363-56-1
		(別冊のみ分売可)	3,000円	ISBN978-4-910363-60-8
第二回配本	2022年6月刊	三・七巻	配本揃価 47,000円	ISBN978-4-910363-57-8
第三回配本	2022年12月刊	四・八巻	配本揃価 41,000円	ISBN978-4-910363-58-5
第四回配本	2023年6月刊	一・五巻	配本揃価 34,000円	ISBN978-4-910363-59-2

＝関連図書＝

戦時推薦図書目録 (戦時占領期出版関係史料集5)

大久保久雄 監修 / 福島鑄郎 解題
【全1巻】 308頁 ¥22,000

雑誌『教育紙芝居』・『紙芝居』—1938～50年

浅岡靖央 編・解題
【全11巻】 総3,786頁 ¥242,000



Kanazawa Bumpokaku
金沢文圃閣

〒920-0867 金沢市長土塀2-16-30
Tel 076-261-8884 Fax 233-3111

□書店様へ…ありがとうございます
直接小閣までお申し込みください

図版はすべて本書より
価格は税別 052/12/4000

「日本少国民文化協会」は、1941 (昭和16) 年12月8日
アジア・太平洋戦争開戦直後の12月23日
(現・上皇 / 当時・皇太子誕生日) に設立認可の官製団体。
国策遂行のために、児童文化全体を一元的に国家統制する
ことを目的とし、敗戦直後に解散するまで、およそ4年の間、
活動を続けた。



内部文書のすべてを時系列に沿って配列、
「日本少国民文化協会」の活動経過及び
その全体像を明らかに。

敗戦直前に協会が機関誌代わりに
発行した『少文協報告』や地方支部活動を
伝える資料、協会編集の単行図書、
さらに「少国民」の玩具・『愛国いろはかた』(三バージョン)
まで収録・集大成。

資料集大成 日本少國民文化協會

編集・解題 - 浅岡 靖央

児童文学、紙芝居、漫画、絵本等、戦時下の児童文化全般の状況を知る上で、不可欠の資料

宮本 大人（みやもと ひろひと / 明治大学国際日本学部教授、漫画史・表象文化論）

戦時下の児童文化統制は、内務省が昭和一三年一〇月に通達した「児童読物改善ニ関スル指示要綱」とそれに基づく検閲、文部省が昭和一四年五月に開始した児童図書推薦制度を二つの柱として、まずは子供向けの出版物を対象として始まり、やがて、演劇、紙芝居、映画なども含む児童文化全体を対象とした官民合同の指導機関として、昭和一六年一二月に日本少国民文化協会（少文協）が設立されるに至る。

少文協の設立の経緯や、その組織、活動の実態については、当事者であった児童文学者や教育学者の回顧や、機関誌『少国民文化』の分析など、児童文学、教育学の立場からの研究をはじめ、近年では、紙芝居、絵本、漫画など広義の児

童文化史研究の立場からのものなど、様々な観点から研究が行われてきている。

だが残された史料の限界から、まだ十分その設立の経緯、組織、活動等に関する実態が解き明かされているとは言えない。

このたびの、少文協関連資料の復刻は、少文協研究を大きく発展させる可能性を持つものであり、かねてより戦時下の児童文化統制について、研究を積み重ねてきた、斯界の第一人者と言える浅岡靖央氏の解題・解説とともにまとめられることは、きわめて大きな意義を有すると言える。児童文学、紙芝居、漫画、絵本等、戦時下の児童文化全般の状況を知る上で、不可欠の資料となるだろう。

戦時期の子どもに関わる文化政策研究の深化・伸展を後押し

酒井 健太郎（さかい けんたろう / 昭和音楽大学准教授）

日本少国民文化協会は、児童文化・文化財を指導する一元組織として、官民協力のもと設立された社団法人で、設立総会は1941年12月23日（当時の皇太子の誕生日）に、発会式は翌年2月11日（紀元節）に開かれた。設立当初には11の部会と少国民文化研究所がおかれ、最盛期には約2,000にのぼる会員がいたとの証言があるという。

協会は設立構想の段階では日本児童文化協会と呼ばれていたが、1941年8～9月に「児童」が「少国民」に置き換えられた（その経緯にはいまだはっきりしないところがある）。「少国民」はそれ以前から用例のある語だが、国策にもとづく一元化団体の名称に用いられたことで、児童をあらわす語として定着した。

この協会の一部の資料—雑誌『少国民文化』、機関誌『日本少国民文化協会報』などの刊行物のほか、協会の趣意書、定款・規程、名簿など—は1991年にエムティ出版により復刻された。このたびの復刻に含まれる、『少国民文化』誌の最終号（その存在は必ずしも知られていなかった）や欠けていた『協会報』により、従来の研究が補完されることになる。また、『愛国イロハカルタ』は協会が製作に関わった唯一の「少国民文化財」とされるが、ここには協会の思想がよりダイレクトに反映しただろうし、「岩手支部前沢

地区会報」には協会の活動の日本全国での広がり的一端が示されているだろう。

とりわけ協会関係者旧蔵の内部文書が復刻される意義は大きい。そこには会議の開催案内・資料・議事録、各種名簿や会計書類に加えて、さまざまなイベント（講演会、展示会、懸賞募集、研究会など）の企画・制作に関する書類、設立最初期の「御相談」の記録や、協会の「再建案」（終戦後に作成された文書だろうか）などが含まれるという。従来、公式情報に拠って構成された刊行物・報道や、バイアスがかかることを避けられない関係者の回顧に頼って把握・推測してきた協会の動きを、より高い解像度で検討できるようになるに違いない。

そのほか、協会は、全国の子どもにラジオ放送を通じて同時にうたを歌わせる「ミンナウタへ」大会のように、直接的に「国民」の想像／創造を促すメディア・イベントや、「南方」の子ども向けの日本語唱歌集『ウタノエホン』の編纂・刊行といった対外的な事業も手掛けた。こうした協会の多様な取り組みの実態が、このたびの復刻資料によって詳細に解明され、戦時期の子どもに関わる文化政策の研究を後押ししてくれることを心から期待するものである。

『少国民文化（全八巻・復刻）』（エムティ出版、1991年）で欠号とされた『協会報』、今回新たに「発見」された『少国民文化』誌最終号などを収録し、戦時期における児童文化の資料的整備を期す。

- ①『日本少国民文化協会報』5号（1943年4月）
- ②『日本少国民文化協会報』13号（1944年1月）
- ③『日本少国民文化協会報』15終刊号（1944年3月）
- ④『少国民文化』4巻1号（最終号）（1945年2月）
- ⑤『少文協報告』1（1945年6月）
- ⑥『少文協報告』2（1945年7月）
- ⑦『会報1 日本少国民文化協会岩手支部前沢地区』（1945年7月）
- ⑧「飛行機をつくるためにオモチャをお出してください」
日本少国民文化協会石川県支部〔1944年〕
- ⑨『少国民文化調査資料 第二輯 海外児童文学小史（一）（米英の部）』
少国民文化研究所〔1942年〕
- ⑩『少国民文化調査資料 第四輯 国民学校上級生の課外読書に於ける好悪傾向の調査』
少国民文化研究所〔1942～43年〕

付録 「愛国いろはかるた」三種

- ①「愛国イロハカルタ」日本少国民文化協会編、日本玩具統制協会 1943年12月10日
- ②「アイコクイロハカルタ」日本玩具統制協会編・発行 1943年12月20日
- ③「愛国いろはかるた」日本少国民文化協会編、日本玩具統制協会 1943年12月30日

協会製作した唯一の「少国民文化財」。箱書誌事項には1943年12月発行と記述されるが実際には1944年2月を過ぎて完成し、「少国民」の正月には間に合わず。

「日本少国民文化協会」関係年表（抄）

- 1940（昭和15）年
 - 12/24 大政翼賛会文化部、日本児童文化協会（仮称）創立準備懇談会
- 1941（昭和16）年
 - 12/23 日本少国民文化協会創立総会（軍人会館）
- 1942（昭和17）年
 - 3/21 少国民文化宣揚講演会（全国25都市）
 - 4/1 少国民文化研究所業務開始
 - 7/1 「軍人援護精神昂揚綴方」募集開始（軍事保護院・情報局・陸軍省・海軍省・文部省・軍人援護会の後援）
 - 7/7 関西少国民向きよい本の選び方展覧会（神戸三越）
 - 7/21 少国民雑誌懇談会（情報局二部二課・出版文協児童課と共催、文学部会・出版部会参加）
 - 8/7 大日本画劇協会主催・少文協後援「軍人援護紙芝居コンクール」
 - 9/8 幻燈研究懇談会（少国民幻燈に関する理念・改善振興策検討）
 - 12/21 第1回新作幻燈作品試写研究会（東京日日新聞社）

- 1943（昭和18）年
 - 2/1 紙芝居企画審査開始（肉筆＝街頭紙芝居）
 - 3/24 戦時下の玩具与へ方展覧会（岡山市天満屋）
 - 4/10 『ウタノエホン・大東亜共栄唱歌』発表会
 - 4/25 幻燈作品発表会（第一徴兵講堂）
 - 4/28 研究所、少国民文化史研究会・第3回古老に聞く会（柿沼澤介「押川春浪の思ひ出」）
 - 5/29 文学部会・童話部会、童話材研究会（童話作品と口演童話に関する諸問題討議）
 - 6/12 第1回漫画映画研究会（漫画映画の現状を検討）
 - 7/5 舞踊部会、全幹事会（舞踊理念研究・舞踊実践普及の拡充、啓発普及事業他協議）
 - 7/10 童話部会・文学部会、都下大学・専門学校学生の童話挺身、参加学生の実演発表会
 - 8/3 軍人援護紙芝居競演会本審査（軍事保護院第二会議室）

- 8/10 第1回幼児防空対策研究会（「幼児防空対策要項」原案作成）
- 8/13 レコード部会、少国民音盤生産関係者錬成講習会（北鎌倉東慶寺）
- 9/21 都下大学専門学校校生食糧増産運動童話行脚懇談会
- 11/13 第2回大東亜少国民ミンナウタへ大会
少国民文化報国挺身隊童話部隊、木炭増産の少国民激励（全国48ヶ所/25,080名に）
- 12/23 少国民文化報国挺身隊童話部隊・紙芝居部隊、
都下84ヶ所の戦時託児所で挺身奉仕
- 1944（昭和19）年
 - 1/20 愛国子守歌歌詞募集締切（大日本婦人会と共催、応募7,000編）
 - 3/4 少国民総進軍大会（全国10か所、～3/22）
 - 3/7 第1回優良玩具認定審査委員会
 - 5/5 人形劇挺身隊、都内9工場の少年少女工員を慰問
 - 6/29 空襲時少国民文化財展示講評会（ポスター・壁新聞・絵本・玩具慰問袋展示、童話・紙芝居・音盤・舞踊・演劇実演）

- 7/27 戦時保育所並農繁期保育所に普及せしむべき文化財調査研究打合せ
- 8/10 第4回企画会議（疎開学童の文化指導、工場青少年工員慰問激励、空襲時疎開児童用文化財整備）
- 8/19 第1回決戦即応演劇協議会（少国民演劇のあり方、決戦下演劇育成問題、少国民演劇の質的向上と普及他協議）
- 8/25 絵画部会、軍事保護院献納画展示会（銀座街頭商店飾窓）
- 12/8 会員総憤激大会・特別挺身隊壮行会（特別攻撃隊精神昂揚のため全国学童疎開地・工場・戦時託児所等に派遣する特別挺身隊）
- 1945（昭和20）年
 - 5/7 帝都残留学童実態調査報告会
 - 6/13 科学思想普及懇談会
 - 7/5 特攻精神昂揚少国民歌制定、軍事保護院にて試聴
 - 10/13 理事会及び総会にて、社団法人日本少国民文化協会解散決議

会議の開催案内・資料・議事録、各種名簿や会計書類に加え、多種にわたるイベント企画・制作に関する書類、設立最初期の「御相談」記録や、敗戦前後の協会「再建案」などが含まれる。これにより協会の動きを、より高い解像度で検討できるようになった。全三百三十五点。

内部文書資料一覧(抄)

【1941(昭和16)年】

Table with columns: 番号, 日付, タイトル. Lists documents from 1941 including reports and regulations.

【1942(昭和17)年】

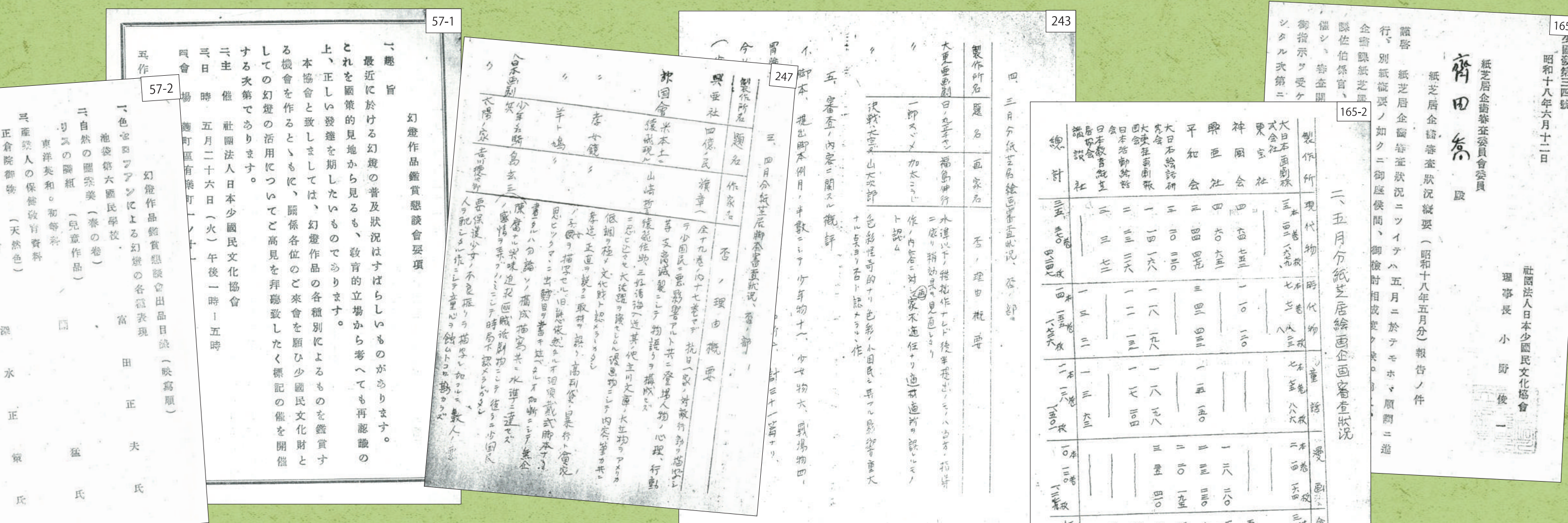
Table with columns: 番号, 日付, タイトル. Lists documents from 1942 including committee reports and notices.

Table with columns: 番号, 日付, タイトル. Lists documents from 1943 including notices and reports.

【1943(昭和18)年】

Table with columns: 番号, 日付, タイトル. Lists documents from 1943 including committee reports and notices.

Table with columns: 番号, 日付, タイトル. Lists documents from 1943 including reports and notices.



57-2

57-1

247

243

165-2

165-1

幻燈作品鑑賞懇談會要項
一、趣旨
最近に於ける幻燈の普及状況はすばらしいものがあります。

Table with columns: 製作所名, 題名, 作家名, 否/理由, 概要. Lists lantern prize entries and their details.

四、三月分紙芝居審査状況
大東亜画劇 福島伸行
水道以下、種別作ナレド、後半提出、シナリオ、指導

Table with columns: 製作所, 現代物, 時代物, 児童話, 愛国劇, 合計. Summary table for the lantern prize contest.

紙芝居企畫審査委員會委員
齊田喬 殿
紙芝居企畫審査状況概要(昭和十八年五月分)報告ノ件

- 208 童話報国挺身隊規約（案）
- 215 11/25 少国発第 168 号 優良玩具認定実施二関スル玩具審査委員申請之件 / 優良玩具認定実施二関スル玩具審査委員 / 優良玩具認定実施要綱 / 玩具審査委員会規程 / 玩具審査委員会運営二関スル内規 / 優良玩具認定実施二関スル内規
- 221 12/24 紙芝居企画審査状況概要（昭和十八年十一月分）報告ノ件

【1944（昭和19）年】

- 229 協会職員俸給一覧
- 230 軍人援護強化二関スル事業実施要項並ニ実施予算
- 235 4/5 少国発第 213 号 少国民紙芝居指導委員二関スル件
- 237 昭和十九年度部会役員仮名簿
- 245 文学部会幹事会記録【4/28】
- 249 文学部会幹事会記録（第三号）【6/6】

- 256 6/22 少国発第 234 / 2 号（文学部会総会議事進行打合せの緊急幹事会開催通知）
- 261 空襲時挺身活動用文化財制作委嘱者
- 270 7/20 少国民文化総躍起大会（案） / 少国民文化功労賞・同文化賞授典式（案） / 大東亜少国民文化会議（案） / 十九年度計画事業項目
- 279 8/14 少国発第 245 号 第一回決戦即応演劇協議会開催御案内
- 283 8/ 少国発第 254 号 第二回朗読文学研究会開催御案内
- 284 9/4 紙芝居企画審査状況概要（昭和十九年六月分及七月份）報告ノ件
- 295 愛国子守歌発表「決戦母ト子ノ大会」実施要綱（案）

【1945（昭和20）年】

- 301 1/ 疎開学童に対し啓発宣伝の必要なる理由

旧蔵者別内部文書数一覧

	齋田喬	牛山充	山田巖雄	川崎大治	公文書館	計	重複	実数
1941	25	9	0	8	4	46	12	34
1942	36	10	2	37	3	88	15	73
1943	42	15	7	39	25	128	13	115
1944	34	0	0	26	23	83	5	78
1945	0	0	0	1	4	5	0	5
不明	1	0	0	1	6	8	0	8
計	138	34	9	112	65	358	45	313

旧蔵者……

齋田喬（児童劇作家 / 1895～1976）＝創立委員であり解散時まで演劇部会幹事長。創立準備に関する資料、協会全体の運営に関わる重要な会議資料、演劇部会の資料、紙芝居企画審査資料なども含む。

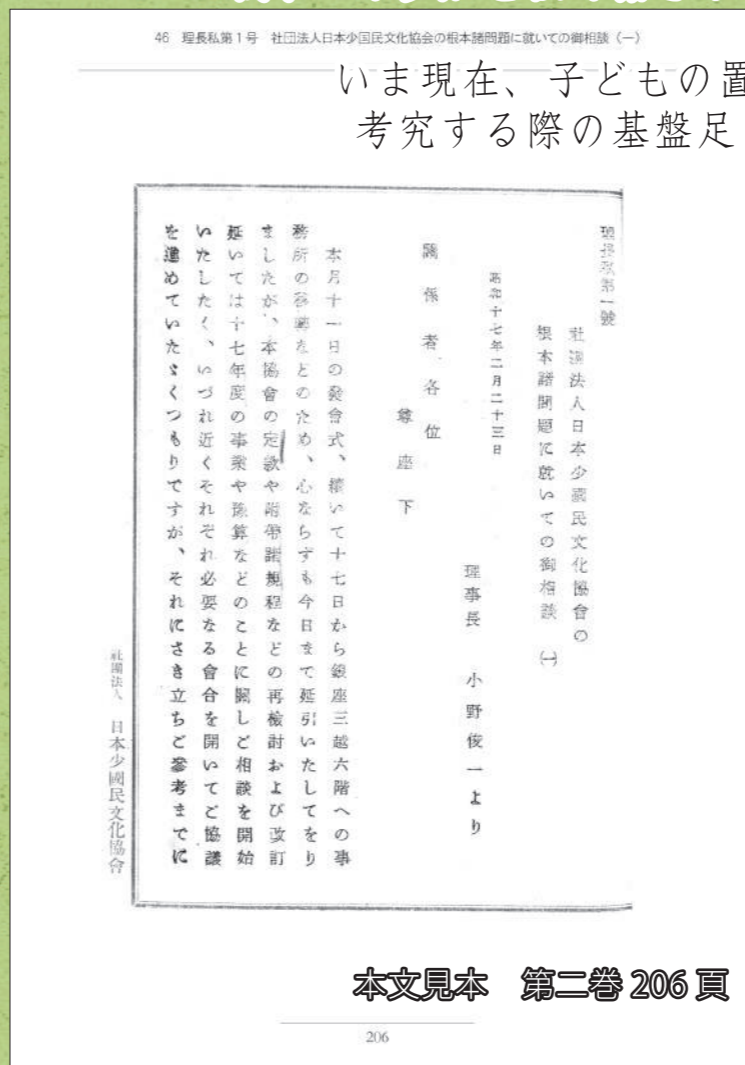
牛山充（音楽・舞踊評論家 / 1884～1963）＝創立委員、舞踊部会幹事を務め舞踊部会の関係資料を持つ。

山田巖雄（口演童話家 / 1901～2000）＝童話部会に所属、その動向を示す資料。

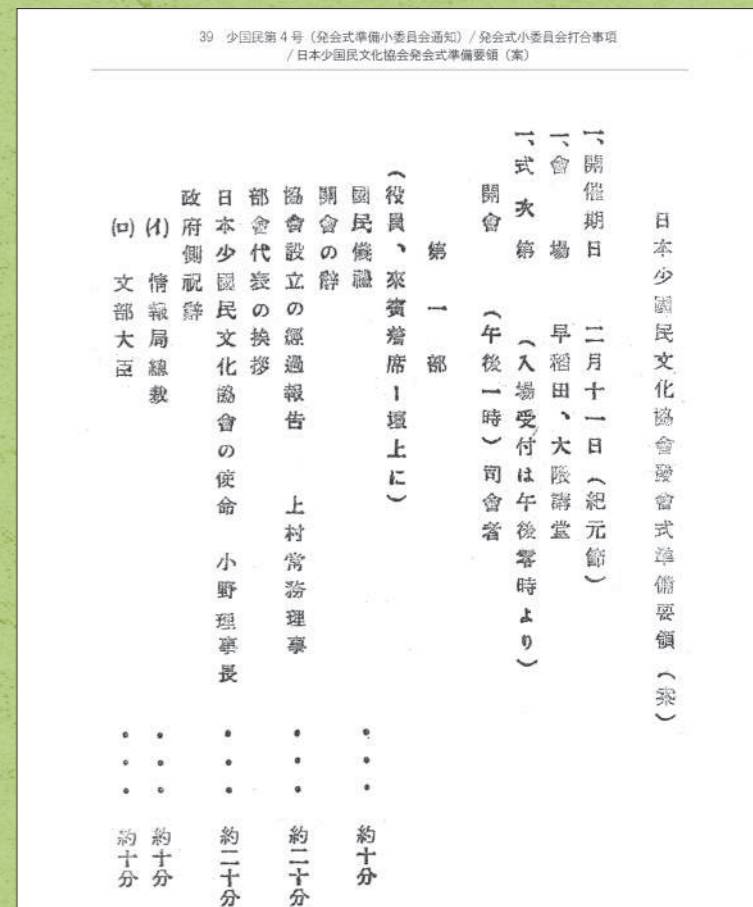
川崎大治（児童文学者 / 1902～1980）＝文学部会幹事、文学部会の資料や少国民紙芝居指導委員に就任した関係で紙芝居企画審査資料も含む。

国立公文書館所蔵……協会の事業ならびに法人事務、さらに人事等に関わる、基本的な資料を多数含む。

総力戦体制の下、児童文化を通して当時の子どもたちに戦争への参加を強く働きかけようとしたこの協会が創設されてから、2021年は80年目を迎える。いま現在、子どもの置かれた社会・文化状況を広い時間軸から考究する際の基盤足りうる資料として本書をここに刊行する。



本文見本 第二巻 206頁



本文見本 第二巻 187頁

